

7月 July おしらせ 預かり編

夏休みの預かり保育。第1回目は、川原遊びが楽しすぎて「もっと川原で遊びたい」「公園でも遊びたい」という子どもたちからの要望を受けて昨年度行ったことのある『戸川公園に行こう』と話がまとまりました。後は園長先生のOKをもらうだけ。さっそく年中長児が交渉に向かいました。



「あすかりのひに」「とかわこうえんにいってもいいですか」「おねがいします」年少児に応援されながら自分の言葉で交渉しました。



「OK」園長先生の返事に「やったー！」と大喜びの子どもたちでした。

園長先生にOKをもらい、大喜びで園長先生に抱き付いていました。当日は、寄の川原で遊んだような遊びをしたいと、船やままごと道具をみんなで準備をして出かけました。



大好きなトランポリン。到着後すぐに挑戦です。水に入る前のウォーミングアップにもなりました。



浮かんだりバタ足をしたり…友達に押しってもらったりして、川の端から端まで行ったり来たりと船遊びを楽しみました。ちなみに手作り船を持ち込んでいたのは寄の子どもたちだけでした。



年長児は、ジャンプに挑戦。助走をつけて飛び込みます。教師は周囲の安全に心がけます。「ドキドキするけれど、めっちゃくちゃたのしい」と何度も挑戦しました。



年長児をまねてやってみたい気持ちが高まりました。しかし…。「先生手伝って！」やってみたい気持ちに教師は支援します。『やってみたい』『やってみた』『できた』『うれしい』『またやってみる』子どもたちの気持ちややる気を大切にしています。



トランポリン、川原、トランポリン、川原と繰り返し遊び、公園を満喫することができました。「またきたい。もっとあそびたかった」素直な感想です。お弁当をもってみんなで行ったからこそ楽しさ倍増だったのではないのでしょうか。夏休みの楽しい思い出になったことでしょうか…保護者のみなさま、ご協力ありがとうございました。